

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
94	学校体育施設の地域への開放	平成30年4月1日 保健福祉課子ども・教育担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大阪市立の学校が保有する体育施設を地域に開放し、地域住民に対して継続的にスポーツの場を提供するとともに、学校体育施設開放事業運営委員会がまちづくり実行委員会の一員として、自主的主体的に運営や活動の推進を図ることによって、住民の健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興等に寄与するよう支援する。
	内容	学校ごとに設置する学校体育施設開放事業運営委員会の自主的、主体的な運営により、地域住民の健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興等が図られるよう、運営支援を行う。
	予算額(予算科目)	1,365千円(委託料)
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	区内大阪市立小・中・高等学校15校の学校体育施設開放事業協定締結団体
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル事業(84地域まちづくり活動の強化推進(地域版)に含めて公募)
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
1 3 月	事務手続きに係る説明会の実施			
4 6 月	学校体育施設開放事業の位置付けについて説明会を実施 事業実績報告等の集約 委託事業の履行確認			
7 9 月	委託事業の履行確認			
10 12 月	委託事業の履行確認			
1 3 月	事務手続き説明会、事業実施報告の提出依頼 委託事業の履行確認			
備考	(4～6月)学校体育施設開放事業の位置付けについて説明会を実施、を追加。			

項目		内容	
講座・イベント・会議名		事務説明会	
イベント等開催関係	開催日時	(調整中)	
	開催場所	区役所会議室	
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他 ()
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	調整中	
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等			
前年度実績	年間総開放回数 4,801 回、のべ利用者数 100,686 人		
業績目標	年間総開放回数 5,100 回 延べ利用者数 100,000 人	自己評価	
成果目標	区民意識調査により学校開放事業が行われていることを知っている区民の割合：20%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望（3～5年）》</p> <p>学校体育施設開放事業により、地域住民による自主的、主体的な運営や活動の推進を図ることによって、住民の健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興等に寄与することによりスポーツ・文化の振興を図る。</p> <p>地域まちづくり実行委員会事業としての展望及び連携体制の構築を支援していく。 (区長会議こども・教育部会における検討内容により見直しも行う。)</p>		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
95	スポーツ推進委員活動の推進	平成30年4月1日 地域課

項目	内容
事業・業務概要	<p style="text-align: center;">目的 (事業の背景を含む)</p> <p>スポーツ推進委員は、スポーツ基本法並びに大阪市スポーツ推進委員規則に基づいて、大阪市教育委員会より委嘱される非常勤の公務員であり、本市の体育・スポーツ振興の推進者として重要な役割を担う。</p> <p>本市では従来より市民一人ひとりが日常的に、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるように、その普及・振興を推進していることを踏まえ、スポーツ推進委員が、特に活動の拠点を地域において、住民との連帯の中でスポーツ・レクリエーション事業の企画・立案を行い、委員相互の協力体制のもと活発に事業の発展をはかることで、本市・区における生涯スポーツの振興がより一層充実すると考えられることから、スポーツ推進委員活動の推進に向けた支援を行う。</p>
	<p style="text-align: center;">内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員候補者の推薦(2年ごとに改選) ・スポーツ推進委員への報酬の支払い(年2回:9月・3月) ・スポーツ推進委員との協働によるスポーツ・レクリエーション事業の実施
	<p style="text-align: center;">予算額(予算科目)</p> <p style="text-align: center;">報酬 317千円(経済戦略局予算)@800×33名×12月=316,800円</p>
	<p style="text-align: center;">事業・業務実施期間(回数)</p> <p style="text-align: center;">委嘱期間:2年(平成28年4月~平成30年3月)</p>
	<p style="text-align: center;">事業・業務対象者(人数)</p> <p style="text-align: center;">主に区内在住・在学・在勤者</p>
委託関係	<p style="text-align: center;">契約・入札方法</p> <p style="text-align: center;">—</p>
	<p style="text-align: center;">募集要項のポイント</p> <p style="text-align: center;">—</p>
	<p style="text-align: center;">仕様書のポイント</p> <p style="text-align: center;">—</p>
	<p style="text-align: center;">選考委員等選定方式</p> <p style="text-align: center;">—</p>

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	<p>委嘱に係る地域・区長の推薦、本市選考 (次回の改選は平成30・31年度)</p>			
4 6月	<p>【毎月】定例会開催 【通年】地域におけるスポーツ・レクリエーション事業の企画・実施。 【随時】市・区におけるスポーツ・レクリエーション事業への参画並びに協力。 【6月】区長杯ソフトパレーボール大会開催</p>			
9月			—	—
10 12月	<p>【10月】オータム・チャレンジ・スポーツ開催 区民まつり運営協力(「ミニ運動会」「大縄跳び」「パレード警備」)</p>			
1 3月	<p>【2月】大正区ファミリージョギング大会運営協力</p>			
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他（ ）	
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等			
前年度実績	スポーツ推進委員が区において運営協力する事業数：5事業 参加者 2,130人 (区長杯ソフトボール大会 140人、大正区民まつり(ミニ運動会) 130人、区民ハイキング 210人、会長杯ソフトボール大会 150人、大正区ファミリージョギング大会 1,500人)		
業績目標	区役所の支援により区においてスポーツ推進委員が主催・運営協力する事業の事業数や参加者数を前年度より増やす	自己評価	
成果目標	区民意識調査でスポーツ推進委員の活動が大正区における生涯スポーツの振興に役立っていると答えた割合：59.3%		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 スポーツ推進委員が、活動の拠点を各校下において、住民との連帯の中でスポーツ・レクリエーション事業の企画・立案を行い、委員相互の協力体制のもと活発に事業が開催され、大正区における生涯スポーツの振興が図れている。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
96	花と緑のあふれるまちづくりの推進	平成30年4月1日 地域課

項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む) 花と緑のあふれるまちづくりを推進することで不法投棄等を抑制し町の美化に寄与することから、これを大正区の魅力向上につなげる活動として位置づけし、公募された区民による花のボランティアの活用により、区内各所を四季折々の花と緑のうるおいあるまちづくりを行なうことを目的とする(平成25年「新・大阪市緑の基本計画」に準拠)
	内容 ・大正内港臨港緑地の「花と緑の研修園」において、区内の10小学校区から募ったボランティアと協働して土づくり、播種、定植、育苗を行い、区役所をはじめ、区内の各校下へ花苗を配布し、水遣り等で管理することにより花と緑あふれるまちづくりを推進する。併せて各校下ボランティアの育成と交流を深めるとともに後継者を育成することを支援する。
	予算額(予算科目) <div style="text-align: center; background-color: yellow;">862千円</div>
	事業・業務実施期間(回数) 4月～翌3月(花苗育成・定植) 4月～翌3月(調整会議の実施) 10月～3月(区民まつりブース運営・花づくり講習会)
	事業・業務対象者(人数) 活動参加者数(延1,300人)
委託関係	契約・入札方法
	募集要項のポイント
	仕様書のポイント
	選考委員等選定方式

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)			-	-
1 3月				
4 6月	・研修園管理(通年) ・水遣り、土づくり、種まき、セル上げ、ポット上げ、各地域への出荷 ・春の種まき			
7 9月	・秋の種まき			
10 12月	・区民まつりブース運営 ・研修会開催(参加者一般公募)	花づくり講習会 参加者公募		
1 3月	・花づくり講習会(公募) ・花壇デザイン講習会(緑化リーダー対象・予定)			
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		花づくり講習会・(寄せ植え講習会)	
イベント等開催関係	開催日時	2月～3月(延べ4回開催)	
	開催場所	区役所会議室・区民ホール	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()	
	その他主催団体・組織等	大正区緑化リーダーグリーンクラブ・花のボランティア	
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3回目 机上研修 12:00～会議室設営(503) 13:00 研修開始(八幡屋公園事務所 講師派遣) 14:30 終了 ・4回目 寄せ植え講習会(区民ホール) ・修了書交付 	
	挨拶者	・花づくり講習会終了時(区長あいさつ及び修了書の交付)	
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等	八幡屋公園事務所の技術指導及び助言等の依頼		
前年度実績	活動実績 述べ1010人(内訳)緑化リーダー幹事会・研修会参加・研修園活動等への延べ参画者数。【特に緑化リーダー育成講習会を花づくり講習会に名称変更し参加者増加H28年度 23人参加(H27年度 9人)×4回 56人増加】		
業績目標	新たに花壇レイアウト講習会等を実施することにより、花と緑あふれるまちづくりに興味を持つ花のボランティア活動への参画者数の増加	自己評価	
成果目標	活動実績 延べ1300人(活動実績+290人) 区民意識調査による「花と緑にあふれるまちづくり」がまちの美化、不法投棄の防止およびコミュニティの醸成に役立っていると思う人 80.5%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3～5年)》 ・ボランティアの自主・自立的な活動により不法投棄のない花とみどりのあふれるまちづくりが推進されている。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
97	子どもたちによる公園への樹木札設置	平成30年4月1日 地域課

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区が主催する区の特徴を活かした文化事業や多様な世代が参画できる事業を、地域・学校等と協力・連携しながら、区民・地域団体と協働して企画、実施することにより、区民の大正区への愛着を高める。
	内容	区内の子ども達が自然に親しむ機会として、また生命ある樹木等の名称や特徴を覚えてもらうため「樹木札設置」を、八幡屋公園事務所(建設局)、小学校、こども会、わがまちビジョン運営委員会と協働して実施する。
	予算額(予算科目)	15千円(消耗品費)
	事業・業務実施期間(回数)	年1回(7月)
	事業・業務対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 3月		—	—
4 6月	【5月】・実施決裁 ・わがまちビジョン運営委員会に協力依頼(企画・運営) ・八幡屋公園事務所に協力依頼(樹木札設置指導・監督) 【6月】・小学校に周知チラシの配布依頼 ・こども会に参加児童の集約、引率依頼 ・区役所にて消耗品購入	【6月】 ・学校、区子連 周知依頼		
7 9月	【7月】 ・事業実施(参加児童、わがまちビジョン運営委員会、子ども会、公園事務所、区役所)			
10 12月				
1 3月				
備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名		樹木札設置	
イベント等開催関係	開催日時	平成 30 年 7 月中旬 (10 : 00 ~ 11 : 30)	
	開催場所	区内公園	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他 ()	
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等	大正区わがまちビジョン運営委員会、八幡屋公園事務所 大正区子ども会育成連合協議会、区内小学校、PTA	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	9 : 0 0 会場設営 9 : 3 0 打ち合わせ 1 0 : 0 0 受付、樹木札製作 1 0 : 3 0 樹木札設置 (公園) 1 1 : 0 0 アンケート記入	
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
動員の方法			
その他、他課との連携等			
前年度実績	参加者 34 人 (児童 18 人、引率 16 人)		
業績目標	区HP等を活用し、前年度より参加者を増やす	自己評価	
成果目標	区民意識調査で事業が区や地域への愛着の向上につながると答えた割合 : 79.3%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望 (3 ~ 5 年)》 事業を通じて、大正区におけるまちづくり活動を強化し、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災活動、地域福祉活動をはじめとするまちづくり活動への参加が促進されるとともに、自らのまちは自ら守るという自立した意識のもと、自助・共助にかかる機運の醸成がより一層図られている。 「わがまちビジョン運営委員会」を初めとする活動主体の自主事業として自立的に運営されている。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
98	『10年後の私への手紙』の実施	平成30年4月1日 地域課

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区が主催する区の特徴を活かした文化事業や多様な世代が参画できる事業を、地域・学校等と協力・連携しながら、区民・地域団体と協働して企画、実施することにより、区民の大正区への愛着を高める。
	内容	大正区内の小学校4年生(10年後に成人式を迎える子どもたち)全員に、「10年後の私へ」というテーマで、A6程度の大きさのポストカードに手紙を書いてもらい、提出された手紙を10年後の成人式において新成人に返却する事業を小学校、こども会、わがまちビジョン運営委員会と協働して実施する。
	予算額(予算科目)	
	事業・業務実施期間(回数)	通年(4月~3月):各種企画事業の実施
	事業・業務対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 ┆ 3月		—	—
4 ┆ 6月	【5月】 ・第1回運営委員会開催			
7 ┆ 9月			—	—
10 ┆ 12月	【10月】 ・第2回運営委員会開催 ・実施決裁	【12月】 ・成人式案内状にて 周知		
1 ┆ 3月	【1月】 ・成人式当日、わがまちビジョン運営委員会、大正区子ども会育成連合協議会により新成人に10年前に書いた手紙を返却、成人の日のつどい運営委員会により会場整理 【2月】 ・区内小学校に10年後の私への手紙を依頼			
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		10年後の私への手紙	
イベント等開催関係	開催日時	成人式当日(11:00~13:00)	
	開催場所	大正区役所2階駐車場	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()	
	その他主催団体・組織等	大正区わがまちビジョン運営委員会	
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等	「成人の日のつどい」運営委員会	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	区内10小学校	
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	10:30 会場設営 11:00 受付開始 13:00 受付終了	
	挨拶者	—	
	来賓紹介	—	
	祝電紹介の方法	—	
動員の方法	—		
その他、他課との連携等			
前年度実績	手紙を受け取りにきた新成人の割合：成人式参加者の70%		
業績目標	区HP等を活用し、前年度より手紙を受け取りに来る新成人を増やす	自己評価	
成果目標	区民意識調査で事業が区や地域への愛着の向上につながると答えた割合：72.4%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3~5年)》</p> <p>事業を通じて、大正区におけるまちづくり活動を強化し、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災活動、地域福祉活動をはじめとするまちづくり活動への参加が促進されるとともに、自らのまちは自ら守るという自立した意識のもと、自助・共助にかかる機運の醸成がより一層図られている。</p> <p>「わがまちビジョン運営委員会」を初めとする活動主体の自主事業として自立的に運営されている。</p>		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
99	文楽公演の実施	平成30年4月1日 地域課

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区が主催する区の特徴を活かした文化事業や多様な世代が参画できる事業を、地域・学校等と協力・連携しながら、区民・地域団体と協働して企画、実施することにより、区民の大正区への愛着を高める。
	内容	区役所で大阪が誇る伝統芸能である「文楽」に触れる機会を提供することにより、地域文化の普及・振興を図るとともに気軽に「文楽」の文化に触れる場のある区役所への親しみや区への愛着を醸成する。企画・運営については、わがまちビジョン運営委員会と協働で行う。
	予算額(予算科目)	45千円(印刷製本費) 15千円(通信運搬費) 300千円(委託料)
	事業・業務実施期間(回数)	年1回(1~2月)
	事業・業務対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	随意契約(比較見積)
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	【1月】 ・事業実施			
4 6月	【5月】 第1回運営委員会開催			
7 9月	【7月】 ・打ち合わせ 【9月】 ・実施決裁			
10 12月	【10月】 ・委託契約締結 ・第2回運営委員会開催 【11月】 ・チラシ・ポスター作成、印刷	【12月】 ・区広報誌、区HP ポスター掲示。 町内会回覧。		
1 3月	【1月】 ・第3回運営委員会開催 【1月~2月】 ・事業実施。事業報告書提出。			
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		文楽体験と公演	
イベント等開催関係	開催日時	平成31年1月～2月(14:00～15:30)	
	開催場所	大正区民ホール	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()	
	その他主催団体・組織等	大正区わがまちビジョン運営委員会	
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	参加者 350人	
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	9:00 会場・受付・控入室準備 13:30 開場 14:00 開演 15:30 終演	
	挨拶者	運営委員長、区長	
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法	区応報紙・ホームページ、チラシ、ポスター等	
その他、他課との連携等			
前年度実績	参加者 380人、参加者アンケートで、「事業が区や地域への愛着の向上につながる」と答えた割合：80.66%		
業績目標	区HPの活用によるPRの強化と参加者アンケートにより把握したニーズを事業に反映させることなどにより、前年度より参加者を増やす	自己評価	
成果目標	区民意識調査で事業が区や地域への愛着の向上につながると答えた割合：59.5%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 事業を通じて、大正区におけるまちづくり活動を強化し、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災活動、地域福祉活動をはじめとするまちづくり活動への参加が促進されるとともに、自らのまちは自ら守るという自立した意識のもと、自助・共助にかかる機運の醸成がより一層図られている。 「わがまちビジョン運営委員会」を初めとする活動主体の自主事業として自立的に運営されている。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
100	『40年後の同窓会』の実施	平成30年4月1日 地域課

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区が主催する区の特徴を活かした文化事業や多様な世代が参画できる事業を、地域・学校等と協力・連携しながら、区民・地域団体と協働して企画、実施することにより、区民の大正区への愛着を高める。
	内容	60歳を迎えられる方々の新しい人生のスタートをお祝いするとともに、地域で行っている活動などを紹介し、これらに参加していただくきっかけづくりの場として、区内の地域活動の紹介、アトラクション等を行うものである
	予算額(予算科目)	45千円(印刷製本費)
	事業・業務実施期間(回数)	年1回(2~3月)
	事業・業務対象者(人数)	主に区内在住者
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 } 3月			—	—
4 } 6月			—	—
7 } 9月			—	—
10 } 12月	【10月】 ・第2回運営委員会開催 ・実施起案 【12月】 ・チラシ・ポスター作成、印刷。			
1 } 3月	【1月】 ・第3回運営委員会開催 【2月】 ・事業実施。事業報告提出。	【1月】 ・区広報誌、区HP ポスター掲示。 町内会回覧。		
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		40年後の同窓会	
イベント等開催関係	開催日時	平成31年2月～3月(11:00～13:00)	
	開催場所	大正区民ホール	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()	
	その他主催団体・組織等	大正区わがまちビジョン運営委員会	
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等	緑化リーダーグリーンクラブ、歴史を語る会、生涯学習推進委員	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	参加者40人	
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	9:00 受付準備 9:30 バンドリハーサル 10:30 受付、開場 11:00 開会 13:00 終了	
	挨拶者	運営委員長	
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
動員の方法	区広報誌・ホームページ、ポスター、チラシ等		
その他、他課との連携等			
前年度実績	参加者40人、区への愛着があると答えた割合:80.66%		
業績目標	区HPの活用によるPRの強化と参加者アンケートにより把握したニーズを事業に反映させることなどにより、前年度より参加者を増やす	自己評価	
成果目標	事業が区や地域への愛着の向上につながると答えた割合:80%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 事業を通じて、大正区におけるまちづくり活動を強化し、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災活動、地域福祉活動をはじめとするまちづくり活動への参加が促進されるとともに、自らのまちは自ら守るという自立した意識のもと、自助・共助にかかる機運の醸成がより一層図られている。 「わがまちビジョン運営委員会」を初めとする活動主体の自主事業として自立的に運営されている。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
101	大正区まちづくり活動の強化推進（大正区民まつり）	平成30年4月1日 地域課

項目	内容	
事業概要	目的 （事業の背景を含む）	大正区における住民主体のまちづくり活動を強化するため、単にイベントを開催するというのではなく、大正区においてこれまで培われてきた地域における社会教育関係団体等のノウハウを活かし、そのほかの地域活動団体・NPO等をはじめとした市民活動団体・企業等が参画する仕組みづくりを構築することで、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災、地域福祉をはじめとするまちづくり活動への住民の参加促進を図ることを目的に実施するものである。
	内容	大正区における住民主体のまちづくり活動を強化するため、単にイベントを開催するというのではなく、企画段階から区民・各種団体などが参画し、区民・各種団体の手によるステージ・各ブースの催しを中心に、誰もが気軽に参加できる内容となるよう区民まつりを企画する。区民まつり当日は、ステージ・各ブースの催しなどを区民・各種団体と協働しながら実施する。
	予算額（予算科目）	9,139千円（委託料） 102、103を含む
	事業・業務実施期間（回数）	年1回（10月の第3日曜日）
	事業・業務対象者（人数）	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式（大正区まちづくり活動の強化推進事業）
	募集要項のポイント	大正区における住民主体のまちづくり活動を強化するため、単にイベントを開催するというのではなく、大正区においてこれまで培われてきた地域における社会教育関係団体等のノウハウを活かし、そのほかの地域活動団体・NPO等をはじめとした市民活動団体・企業等が参画する仕組みづくりを構築すること
	仕様書のポイント	事業実施にあたっては、上記の目的を踏まえて、単にイベントとして開催するのではなく、広く区民や地域の各種団体が参画する仕組みづくりを構築し、区民等との協働型事業として実施すること。
	選考委員等選定方式	専門知識を持つ外部委員3名による選考会議にて選定

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等）	広報スケジュール（報告記事も含む）	スケ	作業
前年度 1 3月	【1月】実施決裁 【2月】入札募集、実施説明会 【3月】委託事業者の選考			
4 6月	【4月】・委託契約締結、事業計画書等提出 【6月】・第1回パレード責任者会			
7 9月	【7月】・第1回実行委員会開催 【9月】・第2回実行委員会開催	9月：ポスター掲示		
10 12月	【10月】・第2回パレード責任者会開催 ・15日（日曜日）事業実施 【12月】・第3回実行委員会開催（反省会）	10月：区広報紙、区HP掲載、開催プログラム周知		
1 3月	【1月】実施決裁 【2月】入札募集、実施説明会 【3月】委託事業者の選考			
備考				

項目		内容										
講座・イベント・会議名		大正区民まつり										
イベント等開催関係	開催日時	平成 29 年 10 月 15 日（日曜日）10:00～17:00										
	開催場所	千島グラウンドー帯（区民ホール、コミュニティセンター等含む）										
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他（ ）										
	その他主催団体・組織等											
	共催団体・組織等	大正区民まつり実行委員会（予定）										
	後援団体・組織等	区内各種団体・区内業種団体・企業										
	目標事業規模 （参加者・参加団体数等）	来場者どなたでも（来場者 25,000 人以上目標）										
	その他留意事項											
	イベント等当日 タイムテーブル	<table border="0"> <tr> <td>9:30 開会式</td> <td rowspan="8">} (予定)</td> </tr> <tr> <td>10:00 よさこい踊り、チアダンスほか</td> </tr> <tr> <td>11:20 地域対抗ミニ運動会</td> </tr> <tr> <td>12:30 ウルトラクイズ大会</td> </tr> <tr> <td>13:00 民謡総踊り</td> </tr> <tr> <td>13:30 パレードグラウンド行進</td> </tr> <tr> <td>15:00 地域対抗「大縄跳び」</td> </tr> <tr> <td>15:40 こども大綱曳</td> </tr> </table>		9:30 開会式	} (予定)	10:00 よさこい踊り、チアダンスほか	11:20 地域対抗ミニ運動会	12:30 ウルトラクイズ大会	13:00 民謡総踊り	13:30 パレードグラウンド行進	15:00 地域対抗「大縄跳び」	15:40 こども大綱曳
	9:30 開会式	} (予定)										
	10:00 よさこい踊り、チアダンスほか											
	11:20 地域対抗ミニ運動会											
12:30 ウルトラクイズ大会												
13:00 民謡総踊り												
13:30 パレードグラウンド行進												
15:00 地域対抗「大縄跳び」												
15:40 こども大綱曳												
挨拶者	区長・(実行委員長)											
来賓紹介	市会議員・府会議員（各議員に開催案内を送付）											
祝電紹介の方法	—											
動員の方法	区広報紙、ホームページ、ポスター、チラシ等											
その他、他課との連携等	保健福祉課：みんなの健康展 総務課：選挙啓発パネル展 ものづくり工場見学案内コーナー											
前年度実績	来場者数：30,000 人											
業績目標	区HPの活用によるPRの強化と参加者アンケートにより把握したニーズを事業に反映させることなどにより、前年度より参加者を増やす	自己評価										
	成果目標	区民意識調査において、事業が区や地域への愛着の向上につながると答えた割合：90.4%以上										
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望（3～5年）》 事業を通じて、大正区におけるまちづくり活動を強化し、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災活動、地域福祉活動をはじめとするまちづくり活動への参加が促進されるとともに、自らのまちは自ら守るという自立した意識のもと、自助・共助にかかる機運の醸成がより一層図られている。											

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
102	大正区まちづくり活動の強化推進(こども文化祭、ジョギング大会)	平成30年4月1日 地域課

項目	内容	
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区における住民主体のまちづくり活動を強化するため、単にイベントを開催するというのではなく、大正区においてこれまで培われてきた地域における社会教育関係団体等のノウハウを活かし、そのほかの地域活動団体・NPO等をはじめとした市民活動団体・企業等が参画する仕組みづくりを構築することで、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災、地域福祉をはじめとするまちづくり活動への住民の参加促進を図ることを目的に実施するものである。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの夢と創造性、文化・芸術への関心や地域への愛着心を育むため、子どもたちの日頃の文化活動の成果の発表・紹介や誰もが気軽に参加できる内容となるよう区民・各種団体と協働してこども文化祭を企画・実施する。 ・区民のスポーツへの関心や地域への愛着心を育み、世代を問わず多くの区民が気軽に参加できる内容となるよう区民・各種団体等と協働してスポーツ大会を企画・実施する。
	予算額(予算科目)	9,139千円(委託料) 101、103を含む
	事業・業務実施期間(回数)	年3回(2月の第1日曜日に1回、第4日曜日に1回、提案のあった日に1回)
	事業・業務対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式(大正区まちづくり活動強化推進事業)
	募集要項のポイント	大正区における住民主体のまちづくり活動を強化するため、単にイベントを開催するというのではなく、大正区においてこれまで培われてきた地域における社会教育関係団体等のノウハウを活かし、そのほかの地域活動団体・NPO等をはじめとした市民活動団体・企業等が参画する仕組みづくりを構築すること
	仕様書のポイント	事業実施にあたっては、上記の目的を踏まえて、単にイベントとして開催するのではなく、広く区民や地域の各種団体が参画する仕組みづくりを構築し区民等との協働型事業として実施すること。
	選考委員等選定方式	専門知識を持つ外部委員3名による選考会議にて選定

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール(報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	<ul style="list-style-type: none"> 【1月】実施決裁 【2月】入札募集、実施説明会 【3月】委託事業者の選考 			
4 6月	<ul style="list-style-type: none"> 【4月】委託契約締結、事業計画書等提出 			
7 9月	<ul style="list-style-type: none"> 【8月】こども会理事会で開催概要を説明し、各校下の小学校に周知する。 【9月】こども会理事会で各校下からの意見を収集し調整を図る。 			
10 12月	<ul style="list-style-type: none"> 【10~12月】交通規制にかかる警察・周辺企業等との調整、運営協力団体の意見集約・各種調整(スポーツ推進委員・青少年指導員・こども会・PTAほか) 【11月】各小学校へ募集要項の配布 【12月】こども文化祭参加団体の募集、関係先へ交通規制周知ビラの配布 	12月:区広報紙		
1 3月	<ul style="list-style-type: none"> 【1月~2月】ジョギング参加者募集、運営協力団体・参加団体の意見集約・各種調整 【2月】第1日曜日こども文化祭、第4日曜日ファミリージョギング大会開催 	1月、2月:区広報紙、区HP掲載、開催プログラム周知		
備考	・現行の実施事業であるこども文化祭とファミリージョギング事業に注力するため、「事業者の提案事業」については行わないこととしていたが、誤って記載されていたため削除する。			

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名		こども文化祭	
イベント等開催関係	開催日時	平成 30 年 2 月 4 日 (日曜日) 10:00 ~ 15:00	
	開催場所	コミュニティセンター、噴水広場	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他 ()	
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等	大正区子ども会育成連合協議会	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	参加者数 3,000 人	
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	8:30 開場 9:00 開会セレモニー、区長あいさつ 3 階ホール / 器楽演奏、ダンスなど 2 階会議室 / ワークショップなど 噴水広場 / 模擬店・パズルなど 15:00 終了	
	挨拶者	区長	
	来賓紹介	市議員・府議員 (各議員に開催案内を送付)	
	祝電紹介の方法	—	
動員の方法	区広報紙、ポスター、チラシ等		
その他、他課との連携等			
前年度実績	参加者数 3,000 名		
業績目標	区HPの活用やアンケートによるニーズの把握・事業への反映等により、前年度より参加者を増やす	自己評価	
成果目標	区民意識調査において、事業が区や地域への愛着の向上につながると答えた割合：73.2%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望 (3 ~ 5 年)》 事業を通じて、大正区におけるまちづくり活動を強化し、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災活動、地域福祉活動をはじめとするまちづくり活動への参加が促進されるとともに、自らのまちは自ら守るという自立した意識のもと、自助・共助にかかる機運の醸成がより一層図られている。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
103	大正区まちづくり活動の強化推進(区民ギャラリー、T a i s h o生涯学習フェスタ)	平成30年4月1日 地域課

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区における住民主体のまちづくり活動を強化するため、単にイベントを開催するというのではなく、大正区においてこれまで培われてきた地域における社会教育関係団体等のノウハウを活かし、そのほかの地域活動団体・NPO等をはじめとした市民活動団体・企業等が参画する仕組みづくりを構築することで、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災、地域福祉をはじめとするまちづくり活動への住民の参加促進を図ることを目的に実施するものである。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の文化・芸術への関心や地域への愛着心を育むため、大正区役所内にギャラリースペースを設け、区民の文化芸術活動の創作発表や交流、気軽に文化芸術に親しめる場となるよう区民・各種団体と協働して区民ギャラリーを企画・実施する。 ・生涯学習推進員が培ってきたノウハウを活かし、「学び」のなかで日常的な課題の解決をはかり、「学び」を通じて様々な参加者とふれあいながら人と人とのつながりを深めることで地域への愛着心を育むため、地域において文化活動を行っている生涯学習ルーム・各種サークル・団体等の活動の発表や世代を問わず多くの区民が気軽に参加できる内容となるよう区民・各種団体等と協働して「T a i s h o生涯学習フェスタ」を企画・実施する。
	予算額(予算科目)	9,139千円(委託料) 101、102を含む
	事業・業務実施期間(回数)	区民ギャラリー：通年 T a i s h o生涯学習フェスタ：年1回(11月上旬の土・日曜日)
	事業・業務対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式(大正区まちづくり活動強化推進事業)
	募集要項のポイント	大正区における住民主体のまちづくり活動を強化するため、単にイベントを開催するというのではなく、大正区においてこれまで培われてきた地域における社会教育関係団体等のノウハウを活かし、そのほかの地域活動団体・NPO等をはじめとした市民活動団体・企業等が参画する仕組みづくりを構築すること
	仕様書のポイント	事業実施にあたっては、上記の目的を踏まえて、単にイベントとして開催するのではなく、広く区民や地域の各種団体が参画する仕組みづくりを構築し区民等との協働型事業として実施すること。
	選考委員等選定方式	専門知識を持つ外部委員3名による選考会議にて選定

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	<ul style="list-style-type: none"> 【1月】実施決裁 【2月】入札募集、実施説明会 【3月】委託事業者の選考 			
4 6月	<ul style="list-style-type: none"> 【4月】委託契約締結、事業計画書等提出、ギャラリー展示者募集、調整会議開催 【5月～6月】ギャラリーに作品展示 【6月】生涯学習連絡会及び協力団体への依頼 	4月：区広報掲載		
7 9月	<ul style="list-style-type: none"> 【7～9月】ギャラリーに作品展示 【7月】生涯学習連絡会、関係団体との運営方法等の調整 【9月】生涯学習フェスタ実施内容の進行、レジュメの作成、内容の協議 			
1 2月	<ul style="list-style-type: none"> 【10～12月】ギャラリーに作品展示 【11月】生涯学習フェスタ実施 	10月：区広報誌掲載		
1 3月	<ul style="list-style-type: none"> 【1～3月】作品展示 【1月】実施決裁 【2月】入札募集、実施説明会 【3月】委託事業者の選考 			
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		T a i s h o生涯学習フェスタ2018		
イベント等開催関係	開催日時	平成30年11月		
	開催場所	大正区コミュニティセンター		
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()		
	その他主催団体・組織等			
	共催団体・組織等			
	後援団体・組織等	大阪市生涯学習推進員大正区連絡会		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	参加者数 700人		
	その他留意事項			
	イベント等当日 タイムテーブル	1日目 10:00	オープニングセレモニー開会 区長あいさつ ワークショップ、展示	
		15:00	終了	
		2日目 10:00	開始 舞台発表、展示	
		15:00	終了	
	挨拶者	大正区長		
来賓紹介	府議会議員、市議会議員			
祝電紹介の方法	掲示			
動員の方法	各団体に周知、各町会でポスター掲示等			
その他、他課との連携等				
前年度実績	ギャラリーへの作品展示団体数：15団体 生涯学習フェスタ参加者：700人			
業績目標	区HPの活用やアンケートによるニーズの把握・事業への反映等により、前年度より参加者を増やす	自己評価		
成果目標	区民意識調査において、事業が区や地域への愛着の向上につながると答えた割合：68.25%以上			
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3～5年)》 事業を通じて、大正区におけるまちづくり活動を強化し、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災活動、地域福祉活動をはじめとするまちづくり活動への参加が促進されるとともに、自らのまちは自ら守るという自立した意識のもと、自助・共助にかかる機運の醸成がより一層図られている。			

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
104	青少年健全育成の推進	平成30年4月1日 保健福祉課子ども・教育担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	青少年の非行防止・犯罪被害防止にかかる啓発や各種事業を実施し、各地域に根ざした非行防止・犯罪被害防止に向けた活動の活性化や機運を醸成することにより、青少年健全育成を図ることを目的とする。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成のための啓発事業（ポスター掲示、青少年健全育成講演会） ・各種団体の少年非行防止活動ネットワークによる支援活動の活用に向けた支援 ・こども110番の家事業 ・各種団体との連絡調整
	予算額（予算科目）	43千円（通信運搬費）
	事業・業務実施期間（回数）	通年実施（4月～3月）：青少年健全育成のための啓発事業（区HPや広報誌による広報、ポスター掲示）各種団体の少年非行防止活動ネットワークによる支援活動の活用に向けた支援
	事業・業務対象者（人数）	年1回（4月～3月）：こども110番の家事業、青少年健全育成講演会の実施 【随時】：各種団体との連絡調整
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等）	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ┆ 3 月			—	—
4 ┆ 6 月	【随時】各種団体との連絡調整 【4月～6月】少年非行防止活動ネットワークによる支援活動の活用支援			
7 ┆ 9 月	【7月】こども110番の家事業受諾団体代表者会議の開催 庁内に「暴走族・少年非行防止強調月間」ポスターの掲示 【8月】区広報誌に「こども110番月間」啓発記事の掲載 【随時】各種団体との連絡調整 【7月～9月】少年非行防止活動ネットワークによる支援活動の活用支援			
10 ┆ 12 月	【11月】庁内に「子ども・若者育成支援強調月間」啓発ポスターの掲示 【随時】各種団体との連絡調整 【10月～12月】少年非行防止活動ネットワークによる支援活動の活用支援			
1 ┆ 3 月	【2月】青少年育成推進講演会の開催 【随時】各種団体との連絡調整 【1月～3月】少年非行防止活動ネットワークによる支援活動の活用支援			
備考				

項目	内容	
講座・イベント・会議名	青少年健全育成講演会	
イベント等開催関係	開催日時	平成 31 年 2 月 5 日 (調整中)
	開催場所	大正会館
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他 ()
	その他主催団体・組織等	
	共催団体・組織等	
	後援団体・組織等	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	市民・青少年指導員・青少年福祉委員・保護司・更生保護女性会・PTA協議会など (1 0 0 名)
	その他留意事項	
	イベント等当日 タイムテーブル	19:00 ~ 区長あいさつ 19:05 ~ 講演会(内容については検討中) 19:50 ~ 質疑応答
	挨拶者	区長
	来賓紹介	—
	祝電紹介の方法	—
	動員の方法	広報紙・ちらし・HP等
その他、他課との連携等	児童虐待・不登校・いじめ・こどもの貧困・青少年の非行防止・犯罪被害防止など、こども・青少年を取り巻く問題は多岐に渡ることから、全庁的に連携が必要である。	
前年度実績	青少年健全育成講演会参加者：100人	
業績目標	青少年健全育成講演会参加者：100人	自己評価
成果目標	区民意識調査において、本事業が「子どもや青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合が72.1%以上	
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 各種関係団体が相互に連携・協力し、子どもや青少年が健全に育つ環境づくりが図られている。	

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
105	成人の日のつどいの実施	平成30年4月1日 保健福祉課子ども・教育担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	地域に見守り、育てられ健全に成長をとげたことへの感謝を認識し、新成人としておとなになったことの自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことにより、区内における諸活動の担い手になることを期待し、青少年の健全育成に関する各種団体の協力を得て、青少年と各種団体間のコミュニティづくりを行う。
	内容	「大正区成人の日のつどい」を青少年指導員・青少年福祉委員・子ども会など地域団体と連携して開催する。(年1回/成人の日)
	予算額(予算科目)	30千円(報償金)、59千円(消耗品費)、50千円(通信運搬費)、21千円(筆耕翻訳料)、14千円(損害保険料)
	事業・業務実施期間(回数)	年1回(10月~1月):「大正区成人の日のつどい」の実施(準備含む)
	事業・業務対象者(人数)	区民(在住・在勤・在学)および青少年健全育成に関心のある方、新成人
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ~ 3月			—	—
4 ~ 6月			—	—
7 ~ 9月			—	—
10 ~ 12月	【11月】 ・実施起案、運営委員会開催、各種団体・企業等への協賛の依頼 ・対象者(新成人)に案内状発送、当番地域の子ども会理事に新成人代表の選考依頼 【12月】 ・わがまちビジョンとの調整(10年後の私への手紙事業)	【12月】 ・区広報誌、区HP掲載		
1 ~ 3月	【1月】 ・運営委員会、わがまちビジョン関係先との連絡調整、事前準備、新成人代表による前日リハーサルの実施 ・事業実施(10年後の私への手紙事業と同日開催)	【1月】 ・区広報誌掲載		
備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名		成人の日のつどい	
イベント等開催関係	開催日時	平成 31 年 1 月 14 日 (9 : 00 ~ 12 : 00)	
	開催場所	大正区民ホール	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他 ()	
	その他主催団体・組織等	「大正区成人の日のつどい」運営委員会	
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等	大正区政協力会、大阪大正ライオンズクラブ ほか	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	各種団体の協力を得て参加者 400 人	
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	【区事業】 9 : 3 0 みおつくしの鐘打鐘 1 0 : 0 0 受付開始 1 0 : 3 0 第 1 部開始 (式典) 区長あいさつ 関係団体祝辞等 新成人誓いの言葉 【運営委員会事業】 1 1 : 0 0 第 2 部開始 (アトラクション) 1 2 : 0 0 終了	
	挨拶者	区青少年指導委員連絡協議会長、区長、区政協力会長、議員	
	来賓紹介	各会長、議員、ライオンズクラブ ほか	
	祝電紹介の方法		
動員の方法	区広報誌・ホームページ、ポスター、チラシ等		
その他、他課との連携等	わがまちビジョン運営委員会 (「 10 年後の私への手紙 」 の返却)		
前年度実績	新成人の参加率 : 72.46% (450 人 / 650 人)		
業績目標	区広報紙や区 HP を活用し、新成人の参加率 80% 以上	自己評価	
成果目標	区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合が 77.8% 以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望 (3 ~ 5 年)》 各種関係団体が相互に連携・協力し、子どもや青少年が健全に育つ環境づくりが図られている。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
106	青少年指導員・青少年福祉委員活動の推進支援	平成30年4月1日 保健福祉課子ども・教育担当

	項目	内容
事業概要	目的 (事業の背景を含む)	青少年指導員・青少年福祉委員活動を推進することにより、住民との連携の下で地域における青少年の健全育成を図ることを目的とする
	内容	要綱に基づき市長から委嘱を受けた「青少年指導員」及び「青少年福祉委員」が行う、青少年の健全育成に関する活動を推進する。
	予算額(予算科目)	1,657千円(交付金)
	事業・業務実施期間(回数)	通年実施(4月~3月): 青少年指導員および青少年福祉委員活動の推進
	事業・業務対象者(人数)	区民(在住・在勤・在学)および青少年健全育成に関心のある方
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 } 3月	改選時(2年に1回) 【8月~11月】青少年指導員・青少年福祉委員制度のあり方・見直しに係る協議・検討 【12月】地域選考会に候補者の選考・区長への推薦を依頼 【2月】地域選考会より区長への推薦、区長より市長への候補者の報告 【4月】委嘱状伝達式			
4 } 6月	【4月】定例会開催 【5月】総会開催 【6月】定例会開催 【毎月】市内統一指導ルーム(各月25日) 【随時】青少年の健全育成に関する活動の実施			
7 } 9月	【7月】大正区校庭キャンプ 【毎月】定例会開催、市内統一指導ルーム(各月25日) 【随時】青少年の健全育成に関する活動の実施			
10 } 12月	【毎月】定例会開催、市内統一指導ルーム(各月25日) 【随時】青少年の健全育成に関する活動の実施			
1 } 3月	【1月】大正区成人の日のつどい(運営協力) 【毎月】定例会開催、市内統一指導ルーム(各月25日) 【随時】青少年の健全育成に関する活動の実施			
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		大正区青少年指導員・青少年福祉委員委嘱状交付式（2年に1回改選、次回平成32年度）	
イベント等開催関係	開催日時	平成30年4月19日（木）19:00～	
	開催場所	大正会館3階ホール	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他（ ）	
	その他主催団体・組織等	—	
	共催団体・組織等	—	
	後援団体・組織等	区調整会、地域選考会（10校下）	
	目標事業規模 （参加者・参加団体数等）	260人（青少年指導員124人、青少年副委員124人、区調整会、地域選考会）	
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	19:00 開会 19:05 区長あいさつ 19:10 委嘱状交付（区長 地域代表者） 青少年指導員 青少年福祉委員 19:50 区調整会委員長あいさつ 19:55 地域選考会委員長紹介 20:00 閉会	
	挨拶者	区長・区調整会委員長	
	来賓紹介	地域選考会委員長	
	祝電紹介の方法	—	
動員の方法	—		
その他、他課との連携等	児童虐待・不登校・いじめ・こどもの貧困・青少年の非行化未然防止など、子ども・青少年を取り巻く問題は多岐に渡ることから、全庁的に連携が必要であり、地域福祉ビジョン講演会への参加を呼びかけるなど情報共有に取り組んでいる。		
前年度実績	青少年指導員・青少年福祉委員による委嘱に基づく活動：36事業		
業績目標	青少年指導員・青少年福祉委員による委嘱に基づく活動：36事業	自己評価	
成果目標	区民意識調査において、本事業が青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合が72.1%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望（3～5年）》 各種関係団体が相互に連携・協力し、子どもや青少年が健全に育つ環境づくりが図られている。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
107	区政会議の開催	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区が所管する施策及び事業について、立案段階から区民の意見を把握し適宜これを反映させるとともに、その実績及び成果の評価に係る意見を聴くことを目的とし、区政におけるPDCAサイクルの確立を図る。
	内容	区政会議を年4回開催する。 ・施策・事業の企画段階や事後だけではなく執行段階においても区政会議委員の意見を聴取して必要に応じて反映するなど、区政会議委員とより活発な意見交換を行う。 ・区政運営について、区役所の自己評価に対する意見に加え、委員の評価を直接受ける。 ・委員から出された意見などについて、区政への反映状況や反映できなかった場合の理由を区政会議の場で明らかにする。 ・区政会議と地域活動協議会(地域まちづくり実行委員会)との連携を図る。
	予算額(予算科目)	248千円(消耗品費、食糧費、通信運搬費、筆耕翻訳料 区政会議運営事業)
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月(全体会議:年4回)
	事業・業務対象者(人数)	区政会議委員 他
委託関係	契約・入札方法	地域団体からの推薦および公募
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	公募委員は、大正区区政会議公募委員選考会の選考結果にもとづき選定

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年)	1月 2月下旬 平成29年度第3回区政会議(平成30年度運営方針(案)、予算(案))	3月 HP(第3回報告)		
4月 6月	6月下旬 平成30年度第1回区政会議(平成29年度運営方針自己評価)	4月 区広報紙(第3回報告) 6月 区広報紙(第1回案内) 6月 HP(第1回案内) 7月 HP(第1回報告)		
7月 9月	9月上旬 平成30年度第2回区政会議(平成31年度予算編成に向けて)	9月 区広報紙(第1回報告) 8月 HP(第2回案内) 9月 HP(第2回報告) 9月 区広報紙(第2回案内)		
10月 11月 12月	11月中旬 平成30年度第3回区政会議(平成31年度運営方針(素案))	11月区広報紙(第2回報告) 11月 HP(第3回案内) 11月広報紙(第3回案内) 11月HP(第3回報告) 1月 区広報紙(第3回報告)		
1月 3月	2月下旬 平成29年度第4回区政会議(平成31年度運営方針(案)、予算(案))	2月 HP(第4回案内) 2月 区広報紙(第4回案内) 3月HP(第4回報告) 4月 区広報紙(第4回報告)		
備考	広報スケジュールに区広報紙での開催案内を追加			

項目		内容	
講座・イベント・会議名		大正区区政会議	
イベント等開催関係	開催日時	6月下旬、9月上旬、11月中旬、2月下旬 午後6時30分～8時30分	
	開催場所	大正区役所5階502会議室	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()	
	その他主催団体・組織等	—	
	共催団体・組織等	—	
	後援団体・組織等	—	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—	
	その他留意事項	—	
	イベント等当日 タイムテーブル	18:30 開会・区長あいさつ 19:05 協議事項 事務局から説明後、委員から質問・意見 20:30 閉会	
	挨拶者	区長	
	来賓紹介	市会議員・府会議員(各議員に開催案内を送付)	
	祝電紹介の方法	—	
	動員の方法	—	
その他、他課との連携等	全課 委嘱する市民の方に委嘱の趣旨・目的をしっかりと理解していただくための取組を進めるとともに、一人に多くの委嘱をすることがないように配慮する		
前年度実績	区政会議の開催(3回)		
業績目標	区政会議の開催(4回)	自己評価	
成果目標	区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議委員の割合：73%以上 区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議委員の割合：70%以上 地域活動協議会(地域まちづくり実行委員会)からの推薦を受けた区政会議委員を選定する。		
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3～5年)》 多様な区民の意見やニーズを区政に反映するとともに、区民による区政の評価ができる仕組みを定着させる。 《成果目標が中期展望に寄与する理由》 区役所が区民からの評価を受けて、区政運営の改善に努めていると思う区民の割合高めることが、中期展望へ寄与する前提となるため、その成果目標を達成することは非常に重要である。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
108	「市民の声」などの受付・回答	平成30年4月1日 総務課庶務グループ

	項目	内容
事業概要	目的 (事業の背景を含む)	市政・区政に対する意見・要望等を的確に把握するため。
	内容	当区役所に寄せられた「市民の声」などに対して、直接市民に回答するなど、市民への説明責任を果たす。
	予算額(予算科目)	18千円(消耗品費、通信運搬費 広聴事業)
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 ┆ 3月	区民等から寄せられた意見・要望への対応(随時)	○	○
	4 ┆ 6月	区民等から寄せられた意見・要望への対応(随時)	○	○
	7 ┆ 9月	区民等から寄せられた意見・要望への対応(随時)		
	10 ┆ 12月	区民等から寄せられた意見・要望への対応(随時)		
	1 ┆ 3月	区民等から寄せられた意見・要望への対応(随時)		
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他()
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等	全課		
前年度実績			
業績目標	「市民の声」の迅速な回答 受付日から回答までの処理平均日数：12日以内	自己評価	
成果目標	区民意識調査にて意見や要望を伝えやすい区役所であると思う区民の割合：81.2%以上 区役所が相談や問い合わせ内容について適切に対応したと思う区民の割合：75%以上		
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3～5年)》 「市民の声」をはじめ、当区に寄せられた意見・要望などに対して、迅速かつ適切に対応するとともに、対応困難な事案についても説明責任を果たすなど、「広聴マインド」をより一層浸透させる。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 「広聴マインド」を定着させることが、中期展望へ寄与する前提となるため、その成果目標を達成することは非常に重要である。</p>		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
109	区民意識調査の実施	平成30年4月1日 総務課庶務グループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	無作為抽出した区民に対する区民意識調査などを実施することで、より幅広い区民ニーズや意見・評価を的確に把握し、施策や事業に反映する。
	内容	無作為抽出した区民に対する区民意識調査を実施。 また、これを補完するために、区内福祉関連施設や子育て関連施設などの協力を得て、高齢者・障がい者・子育て層などの声を把握に努める。 PDCAサイクル徹底のため、各事業の効果測定を行うとともに、調査結果の分析・課題抽出により、今後の区政運営に活用する。
	予算額(予算科目)	1,586千円(委託料 広聴事業) + 市民局へ予算配付 407千円(通信運搬費、委託料)
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	無作為抽出した区民(1,500人)
委託関係	契約・入札方法	一般競争入札
	募集要項のポイント	リサーチの専門業者を対象とする
	仕様書のポイント	調査内容作成にかかるサポート、実査の実施・集計・クロス分析、報告書の作成等
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ┆ 3 月	3月 実施決裁			
4 ┆ 6 月	4～5月 各課にアンケート設問照会 契約準備 アンケート設問の調整 6月 契約締結		○	○
7 ┆ 9 月	7月 区民意識調査の実施(1回目) 8月 区民意識調査結果報告書の納品			
10 ┆ 12 月		【10月】HP(1回目結果) 【11月】広報紙(1回目結果)		
1 ┆ 3 月	1月 区役所業務格付け調査の実施(市民局) 2月 区民意識調査の実施(2回目) 3月 区民意識調査結果報告書の納品	【3月】HP(第2回結果) 【4月】広報紙(第2回結果)		
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他()
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等	(各課)設問の作成、調査結果の分析及び活用 (総務課)区長、副区長、各課、委託業者との調整		
前年度実績	区民モニターアンケート(年2回実施)		
業績目標	無作為抽出した区民に対する区民意識調査(年2回実施) 区内福祉関連施設や子育て関連施設などの協力を得て、高齢者・障害者・子育て層などの声を把握に努める(随時)	自己評価	
成果目標	区役所が、様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合:40%以上		
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3~5年)》 当該調査結果から区民ニーズを的確に把握し、施策へ反映させる。 《成果目標が中期展望に寄与する理由》 多くの区民の方に「区民ニーズを的確に把握している」と感じていただけることが、中期展望へ寄与する前提となるため、その成果目標を達成することは非常に重要である。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
110	広報紙「こんにちは大正」の製作（企画・編集・印刷）	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

項目	内容	
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	<p>市政・区政の情報を分かりやすく的確に全ての区民に伝える。</p> <p>また、ニーズを意識した紙面作りや市・区の施策やサービス情報を提供することにより、区民の市政・区政への理解や関心を高め、まちづくりや地域活動への積極的な参画につなげる。</p>
	内容	<p>広報紙「こんにちは大正」の企画・編集・印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正区年間広報計画に基づき区の施策や事業を掲載する。 ・全ての世代において読みやすい紙面構成やデザインを意識した編集を行う。
	予算額（予算科目）	6,132千円（報償金、印刷製本費、通信運搬費、委託料） 【企画・編集】2,639千円、【印刷】3,493千円
	事業・業務実施期間（回数）	12回
	事業・業務対象者（人数）	区内有人の全世帯及び全事業所
委託関係	契約・入札方法	企画編集業務：地方自治法施行令167条の2第1項第2号の規定に基づく特名随意契約 印刷業務：事後審査型一般競争入札
	募集要項のポイント	企画編集業務：限られた紙面の中で分かりやすく読みやすい紙面とするため専門性・技術力を求める。
	仕様書のポイント	企画編集業務：書体や配色など誰でも読みやすい紙面づくり、市政・区政を分かりやすく的確に全ての区民に伝える工夫がされていること 印刷業務：紙質など規格や納品日の遵守
	選考委員等選定方式	企画・編集業務：当業務に必要な専門性・技術力を持った専門家3名による選定委員会で選定。

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等）	広報スケジュール（報告記事も含む）	スケ	作業
(前年度)	1月：実施決裁（企画編集業務、印刷業務） 募集/入札開始（企画編集業務） 2月：説明会（企画編集業務） 入札開始（印刷業務） 3月：選考会・業者決定（企画編集業務） 入札質問回答・業者決定（印刷業務）		○	○
4 ┌ 6 └ 月	4月：契約締結、事業の開始（企画編集業務） 《毎月業務》 【企画編集業務】 発行月の2ヶ月前から入稿及び編集。 校正を繰り返し発行月の前月15日頃に校了。印刷用データ納品 【印刷業務】 発行月の前月20日頃、印刷用データを入稿 発行月の前月の27日頃、納品		○	○
7 ┌ 9 └ 月	《毎月業務》 【企画編集業務】、【印刷業務】			
10 ┌ 12 └ 月	《毎月業務》 【企画編集業務】、【印刷業務】 10月：平成31年度予算要求 11～12月：区民アンケート等を基に次年度広報紙の契約方法及び仕様書を検討・作成。			
1 ┌ 3 └ 月	《毎月業務》 【企画編集業務】、【印刷業務】 1月：実施決裁（企画編集業務、印刷業務） 2月：説明会および募集/入札開始 3月：業者決定			
備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他()
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等			
前年度実績	<p>「大正区役所情報発信ハンドブック」を策定</p> <p>本ハンドブックが策定されるまでは、入稿時の提出様式・文字数及び必要記載事項を定めていなかったため、入稿原稿作成時に情報不足等が多くそれぞれに調査の必要があるなど非効率であったが、最低限必要な記載事項を明記した様式を定め改善した。</p>		
業績目標	区民が必要とする情報や市政・区政情報の掲載をめざし、さらに区民参加による魅力ある紙面づくりに取り組む。	自己評価	
成果目標	区民意識調査等において、広報紙「こんにちは大正」に区民の知りたい内容が掲載されていると感じている割合：89.8%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	<p>《中期展望(3～5年)》</p> <p>市政・区政への理解や関心を高め、まちづくりや地域活動への積極的な参画につなげる。</p>		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
111	広報紙「こんにちは大正」の全戸配布	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区民モニターアンケートにおいて、「全戸配布」は、市政・区政の情報を確実にお届けする手段として有効であるとする区民の割合が93.6%であり、訴求力のある広報紙を区内全ての方へ届けることにより、市・区の施策やサービス情報を提供し、区民の市政・区政への理解や関心を高め、まちづくりや地域活動への積極的な参画につなげる。
	内容	広報紙「こんにちは大正」全戸配布
	予算額(予算科目)	5,678千円(委託料)
	事業・業務実施期間(回数)	12回
	事業・業務対象者(人数)	区内有人の全世帯及び全事業所
委託関係	契約・入札方法	事後審査型制限付一般競争入札
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	期日までに区内有人の全ての世帯及び事業所にもれなく配布すること。
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	1月：実施決裁、募集/入札開始 2月：入札質問回答・業者決定		○	○
4 6月	4月：契約締結、事業の開始 《毎月業務》 発行月の前月の27日頃、納品 発行月の1～3日(1月は1～6日)の間に区内有人の全世帯及び全事業所へ配布		○	○
7 9月	《毎月業務》			
10 12月	《毎月業務》 10月：平成31年度予算要求 11～12月：平成31年度業務委託契約仕様書等作成			
1 3月	《毎月業務》 1月：平成31年度広報紙全戸配布業務委託実施決裁、入札開始 2月：入札質問回答・業者決定			
備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他()
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等			
前年度実績		区民モニターアンケートにおいて、「全戸配布」は、市政・区政の情報を確実にお届けする手段として有効であるとする区民の割合が 93.6% (H28)	
業績目標		全ての区民へ区の情報を発信するため漏れることなく区内有人の全世帯及び全事業所へ配布する。 区民意識調査等において、広報紙の全戸配布における区民ニーズを調査する。	自己評価
成果目標		区民意識調査等において、広報紙「こんにちは大正」がきちんと届いている区民の割合：100%	
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由		《中期展望(3 ~ 5 年)》 区民意識調査等において、広報紙の全戸配布における区民ニーズを調査する。 今後の配布事業について C B 化も含め他区や他都市の配布方法を調査・研究し検討する。 市政・区政への理解や関心を高め、まちづくりや地域活動への積極的な参画につなげる。	

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
112	広報紙「こんにちは大正」点字版・音訳版の製作	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	視覚障がいのある方へ市政・区政を分かりやすく的確に伝える。 また、ニーズを意識した市・区の施策やサービス情報を提供することにより、市政・区政への理解や関心を高め、まちづくりや地域活動への積極的な参画につなげる。
	内容	点字版・音訳版広報紙「こんにちは大正」の製作
	予算額(予算科目)	点字版：296千円(区CM)
	事業・業務実施期間(回数)	12回
	事業・業務対象者(人数)	大正区在住の視覚障がいのある方 (H29.9現在：点字版2名、図書館などに配架4部 音訳版1名)
委託関係	契約・入札方法	点字版：事後審査型制限付一般競争入札(市民局契約)
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月			—	—
4 6月	《毎月業務》 【点字版】 発行月の前月の28日頃までに点字原稿をまとめる 月末に点字原稿を点字プリンタで印刷 【音訳版】 音声合成ソフトによる音訳 点字版・音訳版共に発行月の1～3日の間に点字版広報紙の利用者へ発送		○	○
7 9月	《毎月業務》 【点字版】【音訳版】		○	○
10 12月	《毎月業務》 【点字版】【音訳版】			
1 3月	《毎月業務》 【点字版】【音訳版】			
備考	点字プリンタ機器リース(市民局契約)長期継続契約5ヵ年 平成30年6月更新予定			

項目		内容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他()
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等			
前年度実績	点字版：区民2名、図書館などに配架4部 音訳版：区民1名		
業績目標	区民に読みたい・聞きたいと思ってもらえる点字版・音訳版広報紙「こんにちは大正」の製作	自己評価	
成果目標	点字版・音訳版広報紙の利用者が、知りたい情報が掲載されていると感じる割合：60%以上		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 点字版・音訳版の利用者ニーズを適宜把握し、視覚障がいのある方へ効果的な情報発信が行えている状態をめざす。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
113	区の魅力発信の充実	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区当の魅力を区内外に積極的に情報発信することにより、当区の抱える喫緊の課題である人口減少や高齢化、事業所の減少などの解決に寄与する。
	内容	各種広報媒体を活用した情報発信 ホームページ、SNS（フェイスブック、ツイッター）区内広報板（60カ所）広報サポーター（33カ所（平成29年10月末））バス停へのチラシ等の掲示 朝ドラ舞台地ネットワーク連絡会議と連携したPR、大正区の魅力凝縮したポスターを掲示。また、発信するコンテンツに最適なツールを見極め、効果的な発信を行っていく。
	予算額（予算科目）	936千円（旅費、消耗品費、通信運搬費、手数料）
	事業・業務実施期間（回数）	通年
	事業・業務対象者（人数）	すべての方
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等）	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	随時：ホームページ、SNS（フェイスブック、ツイッター）区内広報板での情報発信、広報サポーターへの広報協力依頼、バス停へのチラシ等の掲示依頼		○	○
4 6月	4月：朝ドラ舞台地ネットワーク連絡会議と連携したPR（岸和田お城まつり） 《通年業務》 ホームページ、フェイスブック、ツイッター区内広報板へ掲載 大正区の魅力凝縮したポスターを掲示（区内外問わず掲示を依頼） バス停へのチラシ等の掲示依頼		○	○
7 9月	9月：朝ドラ舞台地ネットワーク連絡会議と連携したPR（岸和田城下町フェア） 《通年業務》		○	○
10 12月	10月：平成31年度予算要求 11月：朝ドラ舞台地ネットワーク連絡会議及び連携したPR（太田区商いまつり） 《通年業務》			
1 3月	《通年業務》			
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()	
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等			
前年度実績	<p>ホームページ、フェイスブック、ツイッター、区内広報板(60ヵ所)、バス停へのチラシ等の掲示依頼 朝ドラ舞台地ネットワーク連絡会議と連携したPR (4月岸和田お城まつり、9月岸和田城下町フェア) 与那原町との友好交流に係る確認書の締結による相互トッププロモーション (8月与那原大綱曳まつり、10月大正区民まつり) 大正区の魅力を凝縮したポスターを掲示 (地下鉄御堂筋線 なんば・心斎橋、大阪地下街(株) いずみの広場)</p>		
業績目標	HP・SNS(ツイッター・フェイスブック)等の各種媒体を活用しながら全ての方に区の情報が行き届く取り組みを進める。また、引き続き年間広報計画を策定し、戦略的に情報発信を行う。	自己評価	
成果目標	区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関する情報が、区役所から届いていると感じる区民の割合 30年度 75.6%		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	<p>《中期展望(3~5年)》 各種媒体において情報発信を展開し、情報発信の訴求力を高める取組みを進める。また、新規媒体の獲得に向け研究する。</p>		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
114	窓口サービスの充実	平成30年4月1日 窓口サービス課住民情報担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	来庁者のニーズをふまえ、快適で利用しやすい区役所となるよう利用者の視点に立ったサービスの充実・提供を目的とする。 (市政改革プラン2.0 改革の柱2 ア)
	内容	5S(整理・整頓・清掃・清潔・習慣)や標準化等の取り組みにより職場環境の改善、事務の効率化を図るため、窓口5S推進会議を開催する。窓口サービスの充実に向けた対策を講じ、市民満足度をさらに高めていく。また来庁者アンケートを実施し市民満足度を検証する。
	予算額(予算科目)	—
	事業・業務実施期間(回数)	窓口5S推進会議を定期的に行う(年10回程度)
	事業・業務対象者(人数)	-
委託関係	契約・入札方法	-
	募集要項のポイント	-
	仕様書のポイント	-
	選考委員等選定方式	-

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 3月 来庁者アンケート結果の検証			
4 6月	窓口5S推進会議の開催 課題の抽出、検討、実行			
7 9月	窓口5S推進会議の開催 課題の抽出、検討、実行			
10 12月	窓口5S推進会議の開催 課題の抽出、検討、実行 アンケートの実施・集計			
1 3月	窓口5S推進会議の開催 課題の抽出、検討、実行 アンケート結果の検証			
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		窓口5S推進会議	
イベント等開催関係	開催日時	窓口サービス課長により毎月1回程度、1時間程度の会議を定例開催する	
	開催場所	執務室内	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()	
	その他主催団体・組織等	-	
	共催団体・組織等	-	
	後援団体・組織等	-	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	-	
	その他留意事項	-	
	イベント等当日 タイムテーブル	次第 1 議題:課題の検討等 2 意見交換 3 その他	
	挨拶者	区長	
	来賓紹介	-	
	祝電紹介の方法	-	
	動員の方法	-	
その他、他課との連携等	-		
前年度実績	-		
業績目標	年10回以上開催。	自己評価	
成果目標	来庁者アンケートにおいて、市民満足度が80%以上。		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	中期展望(3~5年) 区役所の格付け調査において、星2つ以上の獲得が継続されている状態。 成果目標が中期展望に寄与する理由 来庁者アンケートにおいて市民満足度80%以上の状態が維持継続されることで、区役所各付けへの高評価につながるものと思料する。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
115	住民情報業務等の民間委託による実施	平成30年4月1日 窓口サービス課住民情報担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区役所における市民サービスの向上及び効率的な業務運営。 (市政改革プラン2.0 改革の柱2)
	内容	民間のノウハウを活用した効率的・効果的な運営、市民満足度の向上、個人情報保護の徹底、モニタリングの実施と品質の向上。
	予算額(予算科目)	35,915千円(委託料)【内訳：31,225千円(区まち)・4,690千円(ICT)】
	事業・業務実施期間(回数)	平成28年2月～平成31年11月
	事業・業務対象者(人数)	区役所来庁者に対するサービス向上
委託関係	契約・入札方法	プロポーザル
	募集要項のポイント	平成28年2月～平成31年11月までの履行期間で募集
	仕様書のポイント	サービス水準の達成度ポイントに連動した契約金額の支払い
	選考委員等選定方式	選考委員会

		スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 } 3月	平成28年2月より現行契約による業務委託			
	4 } 6月	現行契約の履行 サービス水準の評価(第1四半期)			
	7 } 9月	現行契約の履行 サービス水準の評価(第2四半期) 次期新規契約に向けた関係局との調整			
	10 } 12月	現行契約の履行 サービス水準の評価(第3四半期) 次期新規契約に向けた関係局との調整及び予算調書作成			
	1 } 3月	現行契約の履行 サービス水準の評価(第4四半期) 次期契約に向けた関係局との調整			
備考		契約変更等があれば、その都度対応			

項 目		内 容				
講座・イベント・会議名		-				
イベント等開催関係	開催日時	-				
	開催場所	—				
	区役所の主催等	主催	共催	協賛	後援	その他()
	その他主催団体・組織等	-				
	共催団体・組織等	-				
	後援団体・組織等	-				
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	-				
	その他留意事項	-				
	イベント等当日 タイムテーブル	-				
	挨拶者	-				
	来賓紹介	-				
	祝電紹介の方法	-				
	動員の方法	-				
その他、他課との連携等	-					
前年度実績	平成28年2月より現行契約による業務委託					
業績目標	仕様書どおりの業務履行	自己評価				
成果目標	来庁者アンケートにおいて、市民満足度が80%以上					
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3~5年)》 民間事業者への委託による安定した窓口サービスの提供</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 民間のノウハウを活用した効果的・効率的な運営等により、市民満足度を向上させることにより、来庁者アンケートにおいて、毎年80%以上の市民満足度をクリアすることは、区民の方に安定した窓口サービスを提供しているものと思料する。</p>					

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
116	住民情報窓口業務の民間委託会社との定例会議の開催	平成30年4月1日 窓口サービス課住民情報担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	委託者と受託者が意見交換を行うための定例会議を開催し、行政サービス水準の維持と市民サービスの向上を図ることを目的とする。
	内容	委託者と受託事業者の双方の責任者（窓口サービス課長・プロジェクトマネージャー等）による月1回の定例会議を開催し、業務執行体制や事務改善などの意見交換を行うことで、職員と受託事業者の社員が共に信頼し働きやすい職場環境をつくるとともに、サービス水準の向上と諸課題の解決を図る。
	予算額（予算科目）	—
	事業・業務実施期間（回数）	—
	事業・業務対象者（人数）	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等）	広報スケジュール （報告記事も含む）	スケ	作業
（前年度）	1 } 3月 毎月1回開催			
	4 } 6月 毎月1回開催			
	7 } 9月 毎月1回開催			
	10 } 12月 毎月1回開催			
	1 } 3月 毎月1回開催			
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		定例会議	
イベント等開催関係	開催日時	毎月1回、1時間程度の会議を定例開催する	
	開催場所	窓口サービス課 住民情報グループ 打ち合わせ室	
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他()
	その他主催団体・組織等	-	
	共催団体・組織等	-	
	後援団体・組織等	-	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	-	
	その他留意事項	区長参加会議	
	イベント等当日 タイムテーブル	次第 1 前月の事業内容の報告 2 意見交換 3 その他	
	挨拶者	-	
	来賓紹介	-	
	祝電紹介の方法	-	
動員の方法	-		
その他、他課との連携等	-		
前年度実績	定例会議 12回開催(28年度)		
業績目標	年12回開催	自己評価	
成果目標	業務改善提案を年4件以上実現する。		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3~5年)》 定例会議を継続することにより行政サービス水準の維持・向上を図る。 《成果目標が中期展望に寄与する理由》 定期的な意見交換をしながら業務改善提案を年4件以上実現することで、行政サービス水準の維持・向上に資するものと思料する。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
117	不適正事務の防止	平成30年4月1日 窓口サービス課住民情報担当

	項目	内容
事業 ・ 業務 概要	目的 (事業の背景を含む)	不適切な事務処理の発生を防止、24区における事務レベルの底上げを図る必要がある。(市政改革プラン2.0 改革の柱2 イ) 当区では、戸籍の不正閲覧や窓口手数料の着服等の不祥事が発生したため、二度と起こさないという決意のもと不適正事務を防止し、市民の信頼回復に努める。
	内容	不適正事務を防止するため、ダブルチェック体制を徹底する。なお、不正閲覧防止対策として、年1回以上、アクセスログ調査を実施する。また、毎月のセルフチェックの実施及び四半期ごとの検証を行い、重要管理ポイントの徹底に関する職員の意識を高める。
	予算額(予算科目)	-
	事業・業務実施期間(回数)	毎月のセルフチェック、四半期ごとの検証、年1回以上のアクセスログ調査
	事業・業務対象者(人数)	-
委託 関係	契約・入札方法	-
	募集要項のポイント	-
	仕様書のポイント	-
	選考委員等選定方式	-

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	毎月のセルフチェック実施 セルフチェックの検証(平成29年度第3四半期分)			
4 6月	毎月のセルフチェック セルフチェックの検証(平成29年度第4四半期分)			
7 9月	毎月のセルフチェック セルフチェックの検証(平成30年度第1四半期分)			
10 12月	毎月のセルフチェック セルフチェックの検証(平成30年度第2四半期分)			
1 3月	毎月のセルフチェック セルフチェックの検証(平成30年度第3四半期分)			
備考	年1回以上、アクセスログ調査実施(実施時期は区長と調整)			

項目		内容	
講座・イベント・会議名		セルフチェックの検証	
イベント等開催関係	開催日時	窓口サービス課長により四半期ごとに1回開催【年4回開催】	
	開催場所	会議室	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()	
	その他主催団体・組織等	-	
	共催団体・組織等	-	
	後援団体・組織等	-	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	-	
	その他留意事項	-	
	イベント等当日 タイムテーブル	次第 1 セルフチェックシートによる自己評価報告・検証・意見交換 2 重要管理ポイントの検証	
	挨拶者	-	
	来賓紹介	-	
	祝電紹介の方法	-	
動員の方法	-		
その他、他課との連携等	他課職員による住民基本台帳システムの閲覧業務もあることから、不正閲覧の防止について関係各課との認識の共有を図る。		
前年度実績	個人情報漏洩・不正閲覧等の不適正事務の件数 1件(平成28年度)		
業績目標	毎月のセルフチェック(年12回) アクセスログ調査(年1回以上)	自己評価	
成果目標	不適切な事務処理事案の件数 0件		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3~5年)》 市民からの信頼が常に確保されている状態。 《成果目標が中期展望に寄与する理由》 不祥事案件ゼロは必須であり、その状態を継続することで市民からの信頼を得られるものと思料する。		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
118	受付窓口用広告付き番号札による広告収入の確保	平成30年4月1日 窓口サービス課住民情報担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	窓口番号札による広告収入により、大正区独自の歳入確保に努める。
	内容	窓口サービス課(住民情報)の受付番号札に、企業等の広告を掲載することで、広告掲載料による歳入を確保する。区のHPに募集要領等を掲載するとともにツイッターやフェイスブック等を活用し、市民や企業に対し効果的な周知を図る。
	予算額(予算科目)	-
	事業・業務実施期間(回数)	広告募集期間:平成30年2月~12月 広告掲載期間:平成30年4月~平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	区内企業等を対象に募集する
委託関係	契約・入札方法	-
	募集要項のポイント	-
	仕様書のポイント	-
	選考委員等選定方式	-

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	平成29年度実績を検証のうえ、平成30年度の方針を決定	区HP(募集要領等掲載)、ツイッター・FB(周知)		
4 6月	随時募集 募集あれば広告審査会で審査のうえ、広告掲載	区HP(募集要領等掲載)、ツイッター・FB(周知)		
7 9月	随時募集 募集あれば広告審査会で審査のうえ、広告掲載	区HP(募集要領等掲載)、ツイッター・FB(周知)		
10 12月	随時募集 募集あれば広告審査会で審査のうえ、広告掲載	区HP(募集要領等掲載)、ツイッター・FB(周知)		
1 3月	募集あれば広告審査会での審査のうえ、広告掲載 平成30年度実績を検証し、平成31年度の方針を決定	区HP(募集要領等掲載)、ツイッター・FB(周知)		
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		-	
イベント等開催関係	開催日時	-	
	開催場所	-	
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他()
	その他主催団体・組織等	-	
	共催団体・組織等	-	
	後援団体・組織等	-	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	-	
	その他留意事項	-	
	イベント等当日 タイムテーブル	-	
	挨拶者	-	
	来賓紹介	-	
	祝電紹介の方法	-	
	動員の方法	-	
その他、他課との連携等	ツイッターやフェイスブックの効果的な活用について、総務課(政策プロモーション担当)とも連携していく。		
前年度実績	歳入 0 円(平成28年度)		
業績目標	区HPに募集要領等掲載(通年) 区ツイッター・フェイスブック等を活用した周知(毎月)	自己評価	
成果目標	前年度を上回る歳入確保		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	<p>《中期展望(3~5年)》 インターネットを最大限活用した周知により、受付窓口番号札による広告収入を継続的に確保し、安定した区独自歳入を確保できている状態。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 前年度を上回る歳入確保を継続することは、安定した区独自歳入の確保につながるものと思料する。</p>		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
119	国民健康保険料の未収金の減少及び未納の防止	平成30年4月1日 窓口サービス課保険年金担当

	項目	内容
事業概要	目的 (事業の背景を含む)	平成30年度の国民健康保険料について、加入者の保険料納付に対する公平性の観点から、未収金の減少、未納防止に取り組むことにより、収納率の向上を図る。
	内容	初期未納からの督促強化及び処分財産判明世帯への滞納処分の強化を図る 保険担当と管理担当との連携により不現住調査、他保険加入調査などに取り組むことにより資格の適正化を図る
	予算額(予算科目)	国民健康保険事業会計(区予算なし)
	事業・業務実施期間(回数)	—
	事業・業務対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月			—	—
4 6月	(現年度分) 【4~5月】現年度分のみ未収世帯への催告書送付、財産調査、財産判明世帯への差押予告送付 【6月】納付相談及び減免申請受付 (滞納繰越分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分	6月：保険料決定通知書送付及び減免に係るお知らせ	○	○
7 9月	(現年度分) 過年度相当分未収世帯への特別催告書送付、財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分 (滞納繰越分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分	8月： 簡易申告書の提出に係るお知らせ		
10 12月	(現年度分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分 (滞納繰越分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分	11月： 保険料の納付に係るお知らせ		
1 3月	(現年度分) 現年度分のみ未収世帯への催告書送付、財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分、年金事務所への社保加入疑義世帯調査 (滞納繰越分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分	2月：所得減少減免申請世帯に係る資料提出のお知らせ		
備考				

項目		内容				
講座・イベント・会議名		—				
イベント等開催関係	開催日時	—				
	開催場所	—				
	区役所の主催等	主催	共催	協賛	後援	その他()
	その他主催団体・組織等	—				
	共催団体・組織等	—				
	後援団体・組織等	—				
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—				
	その他留意事項	—				
	イベント等当日 タイムテーブル	—				
	挨拶者	—				
	来賓紹介	—				
	祝電紹介の方法	—				
	動員の方法	—				
その他、他課との連携等		—				
前年度実績	《平成 28 年度》 現年度収納率 90.08% (対前年度 1.87 増)、本市平均 88.62% (対前年度 0.66 増) 滞納繰越分収納率 31.29% (対前年度 7.63 増)、本市平均 21.54% (対前年度 0.05 減)					
業績目標	最終催告書の送付、滞納処分の強化、社保疑義世帯の資格適正化等の取り組みを行う。	自己評価				
成果目標	前年度を上回る収納率を達成する。					
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 本市全体の目標以上の収納率達成を継続している状態。 《成果目標が中期展望に寄与する理由》 平成 30 年度より実施されている国保運営の広域化にあたり、財政基盤の強化と保険料の納付の公平性の観点から、収納率の向上はより一層求められる。前年度を上回る収納率の達成を継続することで本市全体の目標以上の収納率達成を継続できるものと思料する。					

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
120	認知症施策の推進	平成30年4月1日 保健福祉課地域福祉グループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	・認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることができる社会の実現をめざすために、認知症高齢者等を支援する区内のネットワークの充実を図り、地域の認知症の方の発見力や認知症対応力を強化する仕組みを構築し、地域に潜在する認知症の方の早期把握や適切な支援につなぐ取組みの推進を図る。
	内容	・認知症高齢者等を支援する区内のネットワークの充実にむけた協力 ・認知症高齢者等の取組みにかかる広報・周知への協力 ・認知症高齢者等の地域課題の共有・取組みの方向性等の検討 ・連絡会等において協議、報告等がなされた事項は「地域福祉推進会議」に報告等を行い、施策提言につなげていく。
	予算額(予算科目)	
	事業・業務実施期間(回数)	組織代表者級会議(2回)(大正区認知症強化型地域包括支援センター主催) 認知症初期集中支援推進事業関係者会議(4回)(大正区認知症強化型地域包括支援センター主催) 認知症高齢者支援ネットワーク連絡会(2回)(大正区認知症強化型地域包括支援センター主催)
	事業・業務対象者(人数)	委員30名
委託関係	契約・入札方法	大阪市と大正区認知症強化型地域包括支援センター及び大正区医師会との特名随意契約
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月			—	—
4 6月	・第1回認知症初期集中支援推進事業関係者会議(昨年度報告・今年度計画の承認) (大正区認知症強化型地域包括支援センター主催)			
7 9月	・第1回組織代表者級会議(区内の認知症高齢者等の現状の情報共有) ・第2回認知症初期集中支援推進事業関係者会議(活動報告と課題報告) ・第1回認知症高齢者支援ネットワーク連絡会(昨年度報告・今年度事業の検討) (大正区認知症強化型地域包括支援センター主催)			
10 12月	・第3回認知症初期集中支援推進事業関係者会議(活動報告と課題報告) (大正区認知症強化型地域包括支援センター主催)	・区広報及びHPへの掲載 や案内チラシの配架等の 協力。関係機関への周知への 協力。		
1 3月	・第2回組織代表者級会議(区内の認知症高齢者等の現状の情報共有) ・第4回認知症初期集中支援推進事業関係者会議(活動報告と課題報告) ・第2回認知症高齢者支援ネットワーク連絡会(今年度事業の報告) (大正区認知症強化型地域包括支援センター主催)			
考 備				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		認知症施策推進会議	
イベント等開催関係	開催日時	【5月～6月】【8月】【11月】【2月】年4回（午後2時～4時）会議開催	
	開催場所	シルバークレイン内地域交流センター及び大正区役所	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他（ ）	
	その他主催団体・組織等	認知症強化型地域包括支援センター	
	共催団体・組織等	—	
	後援団体・組織等	医師会・歯科医師会・薬剤師会・認知症疾患医療センター・居宅介護支援事業者連絡会・訪問看護ステーション連絡会・消防署・警察署・社会福祉協議会・包括支援センター・ブランチ・オレンジチーム（初期集中支援チーム）	
	目標事業規模 （参加者・参加団体数等）		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	2時～4時 議事内容報告・検討	
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等			
前年度（H28年度）実績		認知症初期集中支援推進事業関係者会議（3回）広報掲載（2回）HP掲載（1回） 認知症高齢者支援ネットワーク連絡会（3回）認知症講演会（1回）	
業績目標	組織代表者級会議（2回）（大正区認知症強化型地域包括支援センター主催） 認知症初期集中支援推進事業関係者会議（4回） （大正区認知症強化型地域包括支援センター主催） 認知症高齢者支援ネットワーク連絡会（2回） （大正区認知症強化型地域包括支援センター主催）	自己評価	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者等を支援する区内のネットワークの充実を図るため関係会議8回に参加し認知症高齢者等の地域課題の共有・取組みの方向性を検討する。 ・認知症に関する取組みを区広報紙及びHPを活用し周知を図る。 		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	<p>《中期展望（3～5年）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で認知症の方の発見力や認知症対応力を培うために、認知症高齢者等を支援する区内のネットワークの仕組みをつくり、地域に潜在する認知症の方の早期把握や適切な支援につなぐ取組みの推進を図る。 <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》</p> <p>各会議で区内の認知症に係る課題を関係者が共有・検討することで、取り組むべき課題として抽出される為、本事業が中期展望へ寄与する前提として、その成果目標を達成することは非常に重要である。</p>		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
121	生活支援体制整備の実施	平成30年4月1日 保健福祉課地域福祉グループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	・高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムを構築するための一環として、生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加の促進を図るための仕組みづくりを目的に生活支援体制整備事業を実施する
	内容	・大正区社会福祉協議会に生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置・運営を委託し、生活支援コーディネーターが高齢者のニーズや地域資源等を把握したうえで、協議体を通じて情報共有を図り、生活支援・介護予防の充実に向けて取り組む。 また連携会議において協議、報告等がなされた事項は「地域福祉推進会議」に報告等を行い、施策提言につなげていく。
	予算額(予算科目)	福祉局予算
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	65歳以上の高齢者
委託関係	契約・入札方法	福祉局と大正区社会福祉協議会で特名随意契約
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	生活支援体制整備に向けた協議体の設置(大正区社会福祉協議会)			
4 6月	生活支援コーディネーターによる、地域ニーズ・資源の把握 区との連携会議			
7 9月	協議体会議の開催(予定)			
12月 10月	生活支援コーディネーターによる、地域ニーズ・資源の把握 協議体会議の開催(予定) 区との連携会議			
1 3月	生活支援コーディネーターによる、地域ニーズ資源の把握 区との連携会議			
備考	(4～6月)協議体会議の開催を7～9月に延期する。			

項目		内容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他()
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等			
前年度実績			
業績目標	10 地域ごとの地域ニーズ・資源の調査	自己評価	
成果目標	区も協力し地域ニーズ・資源を把握しニーズに合った事業を 1 か所以上立ち上げる		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3～5年)》 地域ごとに生活支援・介護予防を目的とした高齢者の生きがいづくりにつながる「場」をつくること 《成果目標が中期展望に寄与する理由》 地域での事業の立ち上げが「場」を作ることに繋がるため		

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
122	広報紙・ホームページによる広告収入の確保	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	広報紙・ホームページへの広告掲載により、歳入確保に努める。
	内容	広報紙紙面・ホームページバナーに、企業等の広告を掲載することで、広告掲載料による歳入を確保する。
	予算額(予算科目)	2,586千円(広告料)
	事業・業務実施期間(回数)	広報紙：12回/年 ホームページバナー：随時掲載、通年募集
	事業・業務対象者(人数)	大阪市大正区広報紙及びホームページにかかる広告掲載要領に適合する企業全てを対象に募集
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ┆ 3 月	随時募集 掲載希望企業があれば広告審査会で審査のうえ、広告掲載。 2月末：広告既出企業へ広告募集のダイレクトメールを送付	区役所HPへ広告募集要項掲載、広告既出企業へのDM送付	○	○
4 ┆ 6 月	随時募集 掲載希望企業があれば広告審査会で審査のうえ、広告掲載。	区役所HPへ広告募集要項掲載		
7 ┆ 9 月	随時募集 掲載希望企業があれば広告審査会で審査のうえ、広告掲載。	区役所HPへ広告募集要項掲載		
10 ┆ 1 2 月	随時募集 掲載希望企業があれば広告審査会で審査のうえ、広告掲載。 10月：平成31年度予算要求	区役所HPへ広告募集要項掲載		
1 ┆ 3 月	随時募集 掲載希望企業があれば広告審査会で審査のうえ、広告掲載。 2月末：広告既出企業へ広告募集のダイレクトメールを送付	区役所HPへ広告募集要項掲載		
備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他()	
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
	動員の方法		
その他、他課との連携等			
前年度実績		歳入 2,209 千円 (平成 28 年度)	
業績目標		区 HP に募集要項など掲載、既掲載企業へダイレクトメール及び区内企業を訪問するなど、安定的で継続した広告料収入を確保する。	自己評価
成果目標		企業が掲載したいと感じる媒体を研究し、安定的で継続した広告料収入を確保する。	
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由		《中期展望(3~5年)》 広告掲載企業を募集するにあたり、ダイレクトメールや訪問を行い、さらに、企業が掲載したいと感じる媒体を研究することにより広告収入を継続的に確保でき、安定した区独自歳入を確保できている状態。	

平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
123	大正・港ものづくり事業実行委員会の運営	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

項目	内容	
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区民の方にもものづくりの素晴らしさを知ってもらい、親しみを持つことにより、今後の就労希望者の増加と区内ものづくり企業への理解を深めると同時に、区内のものづくり企業のネットワーク形成を促し、相互連携を深め、域外へのキャッシュアウトを防ぐことを目的とする。また、ものづくり事業全体を通して大正区としてのシビックプライドの醸成に寄与する。
	内容	大正・港ものづくり事業実行委員会の事務局として、イベント企画会議の運営や工場見学受け入れ先の調整、見学当日の安全確保、PR素材の作成等を行う。実行委員会の会計については、コミュニティ協会で行い、区はその管理について、逐次報告により把握している。平成29年度業務の一部を委託していたが、平成30年度はアルバイト職員の採用を行い、増加する業務を行う。
	予算額(予算科目)	2,021千円 No71、72、73、75、76、77を含む
	事業・業務実施期間(回数)	通年
	事業・業務対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	アルバイト職員を公募する
	募集要項のポイント	PC業務があること
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	3月 実績の振返りを行う			
4 6月	6月 区内企業と高等学校進路指導部交流会 (No.76)	区HP,フェイスブックでの周知(区、実行委員会)		
7 9月	8月 ものづくりフェスタ (No.74) ファクトリーステイ in 大正 (No.73)	区HP,フェイスブックでの周知(区、実行委員会)		
10 12月	11月 オープンファクトリー (No.72)	区HP,フェイスブックでの周知(区、実行委員会)		
1 3月	3月 インターンシップ (No.71) 企業セミナー (No.77)	区HP,フェイスブックでの周知(区、実行委員会)		
備考				

工場見学 (No.75)

項目		内容				
講座・イベント・会議名		—				
イベント等開催関係	開催日時	—				
	開催場所	—				
	区役所の主催等	主催	共催	協賛	後援	その他()
	その他主催団体・組織等	—				
	共催団体・組織等	—				
	後援団体・組織等	—				
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—				
	その他留意事項	—				
	イベント等当日 タイムテーブル					
	挨拶者	—				
	来賓紹介	—				
	祝電紹介の方法	—				
	動員の方法	—				
その他、他課との連携等	—					
前年度実績	各事業の事業計画書参照					
業績目標	各事業の事業計画書参照	自己評価				
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり事業実行委員会主催事業を知っている区民の割合 85.2% ・大正区を「ものづくりのまち」として誇りに思う区民の割合 86.1% ・企業が地域の活動に寄与していると感じている区民の割合 69.8% 					
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3～5年)》 地域や区内企業が構築している繋がりを通じて地元根差した企業として域外流出することなく、更に区内企業との新たな連携の構築と新規雇用者に区内居住を促していくことにより、都市活動の活発化に寄与するとともに流入人口の増加に寄与していく事業の一つとして機能させていく。人口の流入により、交通や商業の撤退を防ぐことを期待する。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 地域と企業との連携(交流)できている状況が、本事業が中期展望へ寄与する前提となるため、その成果目標を達成することは非常に重要である。取組を通じて、住民が区内の工場に対する嫌悪感が緩和し、人口の流入阻害要因の解消につながると考えられる。</p>					